

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 結 果 等 報 告 書			
会議区分	○ 会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文 書 番 号	
		決 裁 期 日	
名 称	文化財保護委員会 会議		
日 時	平成 22 年 2 月 22 日 (月) 13 : 30 ~ 14 : 20		
場 所	社会教育総合センター 2階 学習室		
出席者	教育長、前田教育振興課長、水谷主幹、吉河主査 文化財保護委員 9 名 (別紙のとおり)		
内 容	別紙の資料をもとに、平成 21 年度報告事項及び平成 22 年度協議事項について説明、委員の意見を求めたこと報告します。		
	教育長及び桑田委員長より挨拶後、議事に従い審議する		
	桑田委員長：報告事項第 1 号から 3 号まで事務局より一括報告願います。		
	事務局：報告事項第 1 号から 3 号まで一括説明させて頂き、ご質問を頂きたいと思ひます。資料 1 から 3 までご覧頂きたいと思ひます。		
	(P3 ~ P12 まで説明) 以上説明を終わります。		
	大西委員：アイヌ古道伝承堅雪ウォークについて、来年度は開催予定があるのか。		
	事務局：4 月 11 日を予定し、郷土館の後援を受け実施します。		
	桑田委員長：他に質疑ありませんか。		
	各委員：特にありません。		
	桑田委員長：他にご質疑がなければ協議事項について、第 1 号から 3 号まで事務局より一括提案願います。		
	事務局：協議事項について、第 1 号から 3 号まで一括提案させて頂き、ご意見を頂きたいと思ひます。資料 4 から 5 までご覧頂きたいと思ひます。		
	(P13 ~ P16 まで説明) 以上説明を終わります。		

大西委員：子どもの活動で、昔の稲こき機械を使う事があり、郷土館の展示品を使用のお願いをしたが無理だったため、郷土館を通じて町民の方から借用し、体験した。

郷土館には、稲こき機械が複数あるように聞いており、使用できないか？

今回、実際に稲こき機械の体験を通じて、子どもたちが貴重な経験ができたため、ぜひ検討願いたい。

事務局：郷土館の収蔵物の中には寄託されている物もあり、新年度の郷土館収蔵物データ化に伴い整理した中で、使用できるかを確認して検討する。

桑田委員長：他に質疑ありませんか。

各委員：特にありません。

桑田委員長：他にご質疑がなければ、その他の協議事項について事務局より提案願います。

事務局：新年度につきまして、史跡・名跡表示板など文化財の視察を行い、新年度の各種事業に向けて各委員よりご意見を頂き、予算等に反映させるため9～10月頃の時期に委員会を開催していきたい。

桑田委員長：事務局より会議の開催時期について提案がありましたが、委員として写真だけではなく、実際の場所に行って確認することも必要であり、文化財等が確認でき時期での開催をお願いしたい。

事務局：わかりました。来年度は9～10月頃を開催していきます。

桑田委員長：各委員、質疑ありませんか。

各委員：特にありません。

桑田委員長：他に質疑がなければ、以上で終了します。